

表 3.1 CMMマップ (RM：要件管理)

目 標	キープラクティス	ISO9001	対応度	コメント	手順書	インプット	アウトプット	備 考
ゴール 1	活動 1	7.2.1 7.2.2 7.2.3		・顧客要求事項に対応できるか、適当であるかを含めて、関連する部門間で確認する必要がある。 ・設計開発者はその要求事項が適切性である旨の確認を取るとともにその記録を残すこと。 ・顧客要求事項を製品化するにあたって、設備ならびに設計能力を有していることも確認しその記録を残すこと。	・契約レビュー手順 ・開発作業手順	・ソフトウェアに反映すべき要件	・契約レビュー実施記録 ・要求事項確認管理表 ・プロジェクト状況報告	・要求事項をシステムに取り込んだことを明確にするために、その管理状態がわかるようにしておく必要がある。 (管理台帳(変更管理手順)において要求案件を管理するとやり易い。)
	計測 1	7.2.2		・顧客要求事項に対して、その対応状況がわかるようにしておくこと。	・契約レビュー手順 ・開発作業手順	・要求事項確認管理表	・要求事項確認管理表	・レビュー時間やレビュー実施数等がわかるようにしておく。
	検証 1	5.6.1		・プロジェクト進捗状況報告会(品質報告会等)において状況をレビューすること。	・品質マネジメントシステム管理手順	・プロジェクト状況報告 ・プロジェクト品質記録 (SQA活動報告書も参考にするこ と)	・開催議事録	・月例品質報告会等で活動状況を評価する。プロセス、手順、製品面に問題が生じる場合は、改善を実施する。
	検証 2	8.2.3		・プロジェクトマネージャは、イベント発生のタイミングにおいて作業進捗状況を点検し、上級管理層に作業状況を報告すること。	・開発作業手順 ・進捗管理手順	・プロジェクト開発計画書 ・要求事項確認管理表 ・SQA活動報告書	・プロジェクト状況報告	・要件事項(反映要件)の実行承認は、プロジェクトマネージャが判断し、実行承認を行う。
	検証 3	-	x	・SQAグループは、レビュー記録ならびに管理情報から、要件管理活動が手順に従って実施されているかどうかを監査し、監査結果を報告すること。	・SQA活動手順	・ソフトウェアに反映すべき要件 ・要求事項確認管理表	・SQA活動報告書	-
ゴール 2	活動 2	7.3.1 7.3.2 7.3.3		・ソフトウェアに反映すべき要件を、作業量、工期、要員計画、成果物等をベースに作業計画の基盤にすること。	・開発作業手順	・ソフトウェアに反映すべき要件 ・開発作業項目	・プロジェクト計画(SPP)につな がる情報	・顧客要求事項の内容によっては、計画全体を見直し再計画するものと、要求事項確認管理表(変更管理表)上での計画化で充分なものが出てくる。
	活動 3	7.3.1 7.3.2 7.3.3 7.3.7		・ソフトウェアに反映すべき変更要件を、作業量、工期、要員計画、成果物等をベースに作業計画に盛り込むこ と。	・契約レビュー手順 ・開発作業手順 ・変更管理手順	・ソフトウェアに反映すべき要件 ・プロジェクト開発計画書 ・構成管理表(成果物一覧) ・進捗管理表 ・要求事項確認管理表	・プロジェクト計画(SPP)につな がる情報 ・進捗管理表 ・要求事項確認管理表(作業承認を得 ること)	・CMMでは、プロジェクト計画(SPP)/プロジェクト管理(PTO)が関連している。
	計測 1	7.2.2 7.3.7		・顧客要求事項(仕様変更)に対して、その対応状況がわかるようにしておくこと。	・開発作業手順 ・契約レビュー手順 ・変更管理手順	・要求事項確認管理表	・要求事項確認管理表	-
	検証 1	5.6.1		・プロジェクト進捗状況報告会(品質報告会)において状況をレビューすること。	・品質マネジメントシステム管理手順 ・内部監査手順	・プロジェクト状況報告 ・プロジェクト品質記録 (SQA活動報告書も参考にするこ と)	・開催議事録	・月例品質報告会等で活動状況を評価する。プロセス、手順、製品面に問題が生じる場合は、改善を実施する。
	検証 2	8.2.2		・プロジェクトマネージャは、イベント発生のタイミング/仕様変更要望において作業進捗状況を点検し、上級管理層に作業状況を報告すること。	・契約レビュー手順 ・変更管理手順 ・開発作業手順	・プロジェクト開発計画書 ・要求事項確認管理表 ・SQA活動報告書	・プロジェクト状況報告	・要件事項(反映要件)の実行承認は、プロジェクトマネージャが判断し、実行承認を行う。
	検証 3	-	x	(ゴール1の検証3と同じ)	-	-	-	-